

「社会はなぜ左と右に分かれるのか - 対立を超えるための道徳心理学」 ジョナサン・ハイト (2013)

米国における左派と右派

	左派 / リベラル / 民主党	右派 / 保守主義 / 共和党	
		リバタリアン / 古典的自由主義	社会保守主義者 / 宗教右派
全般	<p>変革、苦痛や社会の構成に深い感情。国家主義から普遍主義に向かう傾向。</p> <p>欠点：相互協力を阻害する利己主義や個人主義の発達によって起こる社会の解体や、侵略主義的な他国への服従の可能性。</p>	<p>秩序の維持、権威の尊重、自分が所属する集団への献身、自己の純粋さに深い感情。個人間の社会的な絆、相互依存の規範、それなどに由来する信用を重視。</p> <p>欠点：厳しすぎる規律や、伝統に対する過剰な尊重によって生じる硬直化の可能性</p>	
支持層	<p>テクノロジーで財を成した者、都市の貧者。WEIRD社会（西洋の、教育された、工業化された、裕福な、民主的な）</p>	<p>大企業経営者、地方の貧者。</p>	
脳内物質	<p>神経伝達物質ドーパミン：新たな経験や感覚を求める意欲 p.429</p>	<p>グルタミン酸とセロトニン：脅威や恐怖に対する感受性 p.429</p>	
	<p>ホルモン&神経伝達物質オキシトロン：他集団とより効率的に競えるように、私たちがパートナーや自集団に結びつけてくれる。</p> <p>ミラーニューロンシステム：自分の道徳マトリクスに反する者よりも、従っている者に共感し、後者の行動を模倣する。 p.363</p>		
自由	<p>個人の自由を強調。自由市場を制限すべき時もあると考える。</p>	<p>プライベートな領域ではリベラル、経済的な面では社会保守主義者</p>	<p>プライベートな領域では秩序の維持、経済的な面では自由市場を擁護。</p>
公正	<p>平等としてとらえる</p>	<p>報酬は各人の貢献の度合いに応じて配分されるべき</p>	
市場	<p>強大な大企業や巨万の富を築いた資本家を自由に対する大きな障害と見なす。</p>	<p>「市場の奇跡だ！」 p.464。自由市場を強く支持。選択は人々の手に委ねるべきで、選択によって生じるコストや利益は、個人が自分で負担したり受け取ったりするべき</p>	
政府 政府	<p>政府は公共の利益をもっと追求すべき。政府は企業という超個体を抑制可能であり、実際にそうすべき。規制によって解決できる問題もある。 p.453 欠点：ケアと同情に背中を押されて市場の働きに干渉することがあるが、</p>	<p>リバタリアンとは弱者への同情を大げさに表現しないリベラル。 p.462 政府は公共の利益にあまり重きを置いていない。政府の存在は自由に対する大きな脅威と見なす。</p>	<p>人間は本来不完全で、すべての規制や責任を取り去ると不正な行為に走ると考えている。秩序と安定の党。一般に「進歩と改革の政党」によって実施された「変化」の政策に反対する。</p>

	その結果大きな災厄がもたらされる場合もある。		
道徳基盤 ※	〈ケア/危害〉 〈自由/抑圧〉 〈公正/欺瞞〉 に基盤を置く。 欠点： 〈忠誠〉、〈権威〉、〈神聖〉 が持つポジティブな価値に気付かず、集団への忠誠は道徳の範囲を狭め、人種差別と排除の基盤になり、権威は抑圧になると考える。	〈自由/抑圧〉、次いで 〈公正/欺瞞〉 を基盤とする。	〈ケア/危害〉 〈自由/抑圧〉 〈公正/欺瞞〉 〈忠誠/背信〉 〈権威/転覆〉 〈神聖/墮落〉 を基盤とする。道徳資本に対する脅威を検知できる。道徳の枠組みを形作る制度や伝統が破壊されていると思ったときは、激しく変化に抵抗する。
	<p>FIGURE 12.2. The moral matrix of American liberals.</p>	<p>FIGURE 12.3. The moral matrix of American libertarians.</p>	<p>FIGURE 12.4. The moral matrix of American social conservatives.</p>

※6つの道徳基盤

Care/harm (弱者への) ケア/危害	Liberty/ Oppression 自由/抑圧	Fairness/ cheating 公正/欺瞞	Loyalty/ betrayal (集団への) 忠誠/背信	Authority/ subversion 権威/転覆	Sanctity/ degradation 神聖/墮落
-------------------------------------	---	--	---	---	---

Nature先天論者とNurture経験主義と合理主義（自分で発見）